

## 防草コンクリートの工法検討について

平成26年 9月 3日  
鳥取県技術企画課

### 1 事業の目的・背景

道路の路肩法面については、雑草による道路施設の視認性の妨げを防止すると共に、法面火災による道路近接地域への延焼による被害の拡大を防止することを目的として、防草コンクリートを設置することとしている。

この防草コンクリートは、一般的にコンクリートの人力打設により施工していることから、施工延長が長い場合は、長期間の作業日数を要しているのが現状である。

さらに、コンクリートの打設後は、人力による表面コテ仕上げを行う必要があり、特に切土法面の法尻部においては、法面長1.5mまでコテでコンクリートをかき上げる必要があり、作業員の労力は多大なものとなっている。

また、近年、土木作業員が減少傾向にあることに加え、高齢化が進んでいる状況であり、作業員の労力の軽減を図ることも重要であると考えられる。

このような現状において、従来工法的人力打設ではなく、コンクリート吹付工法や二次製品の使用等により省力化と工期短縮ができないかどうか、経済性を踏まえて調査検討を行うものである。

### 2 標準横断面図

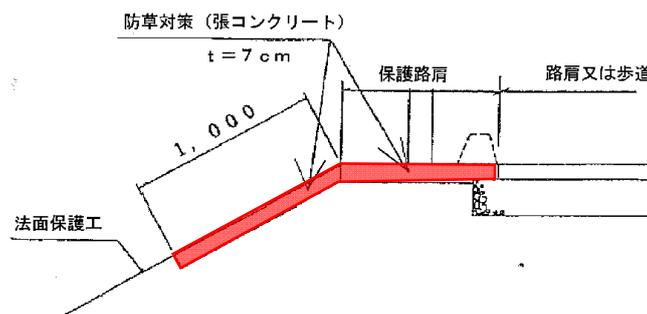


図 2-4-10 盛土部の場合 [参 2-7 p. 3-2-11]

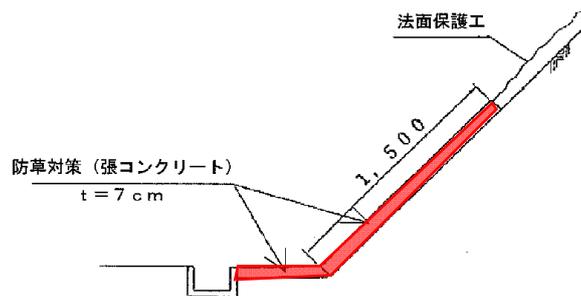
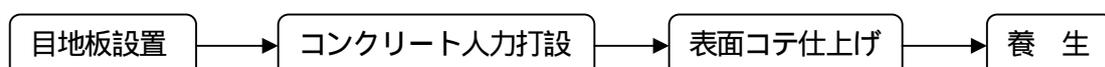


図 2-4-11 切土部の場合 [参 2-7 p. 3-2-11]

### 3 施工手順

(従来工法)



#### 4 状況写真

【完成状況】



防草コンクリート  
(切土部)

【防草コンクリート施工状況】



コテ仕上げが大変

目地板

#### 5 調査検討内容(案)

##### 1) 事例収集

- ・ 国や他県等の施工実態について資料収集する。

##### 2) 試験施工

- ・ 従来工法の人打設工法、コンクリート吹付工法、パネル等二次製品の使用のほかに資料収集で得られた各種工法について試験施工を行い、施工性について検証する。

##### 3) 工法の比較検討

- ・ 各種工法について、施工性、経済性に関する比較検討を行う。

##### 4) 実施に当たっての検討

- ・ 防草コンクリートは、路肩法面部への雑草の侵入を防止する目的で設置するものなので、コンクリートの品質をどの程度まで求めるのか検討する。

#### 6 調査検討費用(概算)

委託料 2,000千円(公益財団法人鳥取県建設技術センター等)